

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	893 キャリア教育推進事業	会計	01	一般会計
基本	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
策		項	01	教育総務費
		目	03	義務教育振興費
細目	4 心の教育の推進	細目	102	児童生徒指導経費
細々目		04	自分発見！中学生・地域ふれあい事業経費	
基本計画該当頁		127		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード	450300	評価者	加納 圭子
	名称	学校教育課	氏名	
			連絡先	22 - 9676 (内線) 3820

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
・市内小中学校児童生徒 ・学校、家庭、地域、関係諸機関 (対象件数 児童生徒7868人)	・小学生が仕事調べ・仕事体験などを行うことで身のまわりの仕事や環境に関心を持ち自分の将来について考えることができる。また、中学生が地元の企業等で職場体験を行うことで、自己の生き方や進路を見つめ直すことができる。 ・児童生徒のキャリア発達を育む連携システムが構築できる。
根拠法令・要綱等	
開始年度 平成 17 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
本年度事業内容	県の委託事業を受け、各中学校で職場体験学習を実施しました。また、第2回伊賀市キャリアフォーラムを開催しました。
状況変化等	中学生を対象に連続5日間の職場体験を継続するとともに小学校・中学校各段階を通した系統的なキャリア教育を推進することで、児童生徒の職業観・勤労観を育みきっかけとなっている。特に、職場体験は、子どもたちの進路選択にとっての重要な学習となっているとともに地域の施設や企業の支援を得ることから、地域による学校支援の一端となっている。平成20年度で、県の委託事業「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」は終了する。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値				目標値	
		H17	H18	H19	H20	H19	H20
連続5日間の職場体験活動実施校数	校	目標 実績	目標 実績	12 12	12 12	12 12	12 12
伊賀市キャリアフォーラム開催回数	回	目標 実績	目標 実績	1 1	1 1	1 1	1 1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
			H17	H18	H19	H20	
職場体験実施後のアンケート調査における生徒の満足度	自分の生き方や進路を見つめ直すことができたという生徒の割合	%	目標 実績	80 70	目標 実績	90 90	95 100
伊賀市キャリアフォーラム参加者数	キャリア教育を充実するために保護者や地域の参画が必要である。	人	目標 実績	200 200	目標 実績	250 250	280 300

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	・フリーターやニートの増加が社会問題となる中で、中学生の時期に地元の企業等で職場体験を行うことは自分の生き方や進路を見つめ直す機会となる。 ・キャリアフォーラムを継続して開催し、学校・家庭・地域・企業などと連携を図っていくことは今後も重要である。
有効性	4	・自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象とし、学校・家庭・地域社会が一体となって実施している職場体験活動は今まで気付かなかった自分に出会って確かな進路選択につながっている。 ・フォーラムにおいて小・中学校教職員・保護者、企業、地域等が一堂に会し子どもたちのキャリア形成について考え合え
達成度	3	・中学生の職場体験活動、キャリアフォーラムについては概ね達成できた。 ・小学校からの系統的なキャリア教育の推進のあり方、キャリアフォーラムへの高校側の参画は今後の課題となった。
効率性	3	・費用を有効に活用し、事業を進めることができている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	変更	伊賀市として、「学力の向上」「人権教育の充実」「キャリア教育の推進」を学校教育の大きな柱として位置づけている。その1つであるキャリア教育を小中学校において系統的に進めていくために、特色ある学校教育推進事業委託料から組み替えを行う。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容								
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額				
委託	事業内容	中学生・地域ふれあい事業委託料	12	校	(千円) 1,550	中学生・ふれあい事業委託料	12	校	(千円) 1,500	中学生・地域ふれあい事業委託料	12	校	(千円) 1,200	中学生・地域ふれあい事業委託料	12	校	(千円) 1,200	キャリア形成事業	37	校	2,230	キャリア形成事業	37	校	2,230
		小学校: 学級数 × 8,000 中学校: 1・2年学級数 × 10,000 中学校3年学級数 × 100,000																							
進捗率 (%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)								
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	900	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880
フルコスト (A) + (B)		2,450			4,380			4,080			6,310			5,110			5,110								

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,550	1,500	1,200	3,430	2,230	2,230
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	775	750	600	600	0
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	775	750	600	2,830	2,230
	計	1,550	1,500	1,200	3,430	2,230
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					

特色ある学校教育推進事業委託料からキャリア形成事業費として組み替える。(2,230千円)中学生・地域ふれあい事業は1/2県費、H20年度で県補助事業が終了するため、細々目を「キャリア教育推進事業」と変更する。